

2023 年度事業計画

2023年 4 月 1 日 から

2024 年 3 月 31 日 まで

公益財団法人

九 電 み ら い 財 団

2023 年度は、環境事業として「環境保全活動」、「植林活動」、「環境教育活動」及び「次世代向け環境活動支援」を行うほか、奨学金事業として「奨学金の給付」を実施する。

I 環境事業

1 坊ガツル湿原一帯における環境保全活動

- 坊ガツル湿原（大分県竹田市）一帯において、ラムサール条約で求められている「保全」と「活用」の観点から活動を実施
 - ・ 保全面では、坊ガツル湿原の保全およびその一帯に生息する希少植物の保護のため、環境省や自治体、地元団体等とともに、湿原の野焼きや希少植物保護、平治岳のミヤマキリシマ植生保護及び登山道整備等の活動を実施
 - ・ 活用面では、平治岳のミヤマキリシマの観光資源化を目指し、植生保護活動の範囲をやまなみハイウェイから眺望できる北側斜面に拡大

(1) 坊ガツル湿原野焼き活動

- 当財団と地域の方々等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団）」にて、実施時期や活動参加者等を決定（7月、翌年1月）
- リーダーの高齢化・固定化により野焼き活動が再び途絶えることがないように、「野焼きリーダー養成研修」受講者のOJTを通じて後継者を育成

活 動	内 容	時 期	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼防止のための防火帯づくり	8月	各 140 名程度
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように刈った草を集め焼き払う	9月	
本焼き	防火帯の内側に火を入れ、湿原一帯を焼く	翌年3月	

(2) 坊ガツル湿原希少植物保護活動

内 容	時 期	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来植物を除去	7月	100名程度

(3) 平治岳ミヤマキリシマ植生保護および登山道整備活動

エリア	内 容	時 期	参加者
南側斜面	かん木（ミヤマキリシマの育成に支障となる低木）等を除去するとともに、老朽化している登山道を整備	4, 11月	各 100 名程度
北側斜面	かん木等を除去 ※急峻であるため委託で実施	11月～ 翌年3月	委託

2 九電みらいの森プロジェクト（植林活動）

- 環境教育や市民交流の拠点となる森づくりを目指して、地域と協働で植林等に取り組みながらカーボンニュートラルを推進
 - ・ 子どもたちや地域の方々と協働で森づくりに取り組むとともに、植林等の体験を通じた子どもたちへの環境教育を実施
 - ・ 環境教育の場や地域の憩いの場として活用できるよう、広場や園路等のフィールドを整備

(1) 「いさはや九電みらいの森」での活動

内 容	時 期	備考
植林した苗木の成長を助けるため、下草刈を実施 ※植林地が急峻であるため委託で実施	9月	委託

(2) 「きりしま九電みらいの森」での活動

- 鹿児島県霧島市の霧島市有林を植林地とし、霧島市、九州電力鹿児島支店他と協定を締結
- 地域と協働による植林活動や環境教育開始に向け、詳細調査及び設計のうえフィールド整備を実施

(3) その他のエリアでの活動

- 九州北部エリアでの活動に向け、福岡県、佐賀県内の自治体へ植林候補地に関する情報収集を実施

3 環境教育活動

- 次世代の環境保全意識啓発のため、森での「現地環境教育」とVR（ヴァーチャルリアリティ）等のデジタル技術を活用した出前型「デジタル環境教育」を実施
 - ・ 森での現地環境教育は、「くじゅう九電の森」（大分県由布市）、「いさはや九電みらいの森」（長崎県諫早市）、「きりしま九電みらいの森」（鹿児島県霧島市）で、地球温暖化の現状（カーボンフリーを含む）や森林のCO2抑制効果・生物多様性保全機能等を説明する講話と、管理された森林（水源かん養林）や希少植物の観察、間伐の体験、間伐材を使った工作、植林体験等の体験学習を実施
 - ・ デジタル環境教育は、VRやCG等のデジタル技術を活用した「くじゅう九電の森」を疑似体験できるコンテンツを用いて、間伐体験や森林散策を実施
- なお、各教育の実施にあたっては、当財団HPやSNSでの告知、各自治体の教育委員会・各学校への案内、学校を通じたチラシ配布等により募集を行う

[森での現地環境教育]

対 象		場 所	回 数	時 期	延べ参加者数	参 加 費
学校向け	九州全域の小学生	くじゅう	6回	9,10月	360名程度	無料
		いさはや	8回	5,6,11月	480名程度	無料
		きりしま	1回	翌年3月	60名程度	無料
親子向け	九州全域の小中学生とその保護者	くじゅう	2回*	4月	60名程度	—
			1回	8月	100名程度	500円/人程度
		いさはや	1回	5月	30名程度	無料

[デジタル環境教育]

対 象	場 所	回 数	時 期	延べ参加者数	参 加 費
九州全域の小学生	—	50回	通年	1,500名程度	無料

※4月22～23日開催の「エネIKU2023in九重」に間伐体験プログラムを出展
(主催：エネIKU2023in九重実行委員会、共催：九電産業株式会社)

4 次世代向けの環境活動支援

- 非営利団体が取り組む環境分野の次世代育成活動を対象に、公募により助成を実施

(1) 2023年度助成事業

- 応募のあった49団体のうち、社外有識者への意見照会を経て選考した18団体に助成を実施
- 助成先の団体を広報面でも支援するため、活動の内容を財団Facebook等で紹介

(2) 2024年度助成事業

- 理事会において募集内容を決定のうえ、財団ホームページ等を通じて募集し、社外有識者への意見照会を経て助成団体を決定

Ⅱ 奨学金事業

1 奨学金の給付

- 現行の奨学金に対する給付を実施

(1) 給付対象

① 学 生 (大学)

- ・九州大学、福岡大学
- ・九州電力及び九州電力送配電社員の子弟

② 留学生 (大学、専門学校)

- ・九州大学、九州工業大学、福岡大学、西南学院大学の私費留学生

(2) 奨学金給与の額及び期間

給与額：月額 2 万円/人、年額 22 万円（8 月は支給なし）

期 間：正規の修学期間を終了するときまでの最短期間

(3) 2023 年度奨学生数及び給与総額

奨学生 17 名、年額 3,740 千円

Ⅲ 活動の情報発信

- 財団活動の認知度向上を目的として、マスメディアを活用した情報発信を協働先と連携して実施
 - ・九州電力株式会社や地元テレビ局と連携し、鹿児島県霧島市での九電みらいの森プロジェクト（植林活動）のプロモーションを実施
 - ・財団活動時は、新聞社やテレビ局等の報道機関に対し取材案内を実施
 - ・環境事業の協働先や助成先が活動を行う際は、財団名の記載や財団ロゴを掲載した情報発信を要請
- 財団のホームページや SNS、パンフレット等を活用し、機会をとらえた情報発信を実施
 - ・ホームページ、Facebook、Instagram を活用し、活動告知や活動状況等を発信するほか、SNS フォロワー獲得状況等も踏まえ情報発信
 - ・Instagram を活用したフォトコンテストを 2 回実施。入選作品等をパネル化し、財団内外のイベントで展示するほか、カレンダー等に活用
 - ・他社主催イベントに出展し、パンフレット等を活用した環境事業に関する PR を実施

〔参考〕2023 年度活動スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境活動	環境保全	ミヤマキリシマ 植生保護 ★			希少植物 保護 ★	坊ガツル 輪地切り ★	坊ガツル 輪地焼き ★		ミヤマキリシマ 植生保護 ★				坊ガツル 本焼き ★
	植林	協定締結 (きりしま)		詳細調査、測量 (きりしま)	設計			フィールド整備 (きりしま)				植林等活動開始 (きりしま)	
	環境教育 (現地)	親子向け (くじゅう) ★	学校向け (いさはや) ★	親子向け (いさはや)		親子向け (くじゅう) ★	学校向け (くじゅう)		学校向け (いさはや)				学校向け (きりしま)
	環境教育 (デジタル)						学校向け						
次世代育成 支援活動	助成先贈呈式					助成先団体の活動取材			2024年度 助成先募集	2024年度 助成先選考		助成先 決定 ★	
奨学金事業						奨学金の給付 ※8月を除く							
情報発信	Instagram フォトコンテスト				ホームページ等を通じた発信、			Instagram フォトコンテスト		パネル展示など			

以上